



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第323号

(創刊 1988.12.14)

2016.08.07.

久しぶりの質問・回答会議

事業者都合で延期されていた同会議が7月21日に4か月ぶりに、事業者側8名、連協側24名と、事業者予測を遥かに上回る多くの参加を得て開催された。

詳細は後日の議事録に譲るが、事前質問提出にも関わらず、「資料が手元に無いので分かりません」、ろくに調べもせずに「調べたが分かりません」、又だんまりを決め込む等、責任事業者とは思えぬ態度であった。

事業評価監視委員会付帯意見で「住民の理解を得られるように最大限の努力をすべき」とされているのに、集塵機や排ガスフィルター設置等を渋り、とても最大限の努力をしているとは言えない。

「そのような説明で出席者の理解が得られていると思っているのか」との詰問に「この場の様子からは得られているとは思っていません」との認識を示した。(事務局)



(会場風景 於 朝日平和台)

質問・回答会議参加報告

2016.7.21日、朝日平和台自治会で、国交省、NEXCO、横浜市道路局担当者が出席し連協提出の質問書に関する回答会議が行われた。当日は朝からの雨にもかかわらず、自業者側が用意した資料が足りない程の参加があり、椅子も追加されました。各団体の方々が如何に圏央道横浜環状南線に関心を持ち、事業内容に不満、不審、疑問を持っていらっしゃるかを感じました。

先に提出された質問書に対する回答の会と聞いていましたが、一つ一つの回答に明確さや誠意がないと感じました。家屋調査の件では、調査範囲を20mと事業者は言っていたが、今回はトンネル基底部より地上に向け45度角の範囲を(場所による)調べると言いました。住民としては関係する地上全てに適用を要望します。南線の公田換気所に脱硝装置に設置を強く要望すると発言しました。また国交省参加者より、事業評価監視委員会の話が出ましたので、第1回目からの同会議事録をよく読んで、参加委員の意見を知ってほしいと伝えました。(湘南桂台の生活環境を守る会 松田京子)

道路全国連 名古屋で幹事会

7/31(土) 全国から16名の幹事が集まりこの1年の報告と今年度の計画を確認した。まだ計画段階の中部横断道の皆様も初めて参加した。

横環南から連協と庄戸合同が差し迫る工事と土地収用法の横暴などを訴えた。東京外環は各地で起きているシールド工法での事故例からその危険性を、名古屋からは道路被害の追及に国会議員参加による事業者の態度急変、福山ではトラストが用地交渉に威力を発揮している事例など、全国各地から貴重な情報が寄せられた。また国交省交渉での交通センサスの行き詰まりも報告され国会での追及を視野に入れた。

なお京都では市長が医師会を中心とした反対運動を受けて5つの高速道路計画のうち残り3つを中止するという画期的な報告もあった。今年の全国大会は11月12、13日(土、日)に名古屋開催の計画が発表された。横環南からの発表も予定され現地でのPM2.5研究の専門家による講演が期待される。(会長 比留間)

田谷町遺跡発掘調査報告

南線建設予定地で、「田谷町相ノ田谷（あいのたや）遺跡」の発掘調査が行われています。本調査は、昨年8月に県教育委員会文化遺産課が行った「横浜環状南線建設事業に伴う埋蔵文化財の試掘調査」により、弥生式土器の破片が発掘されたため、本発掘調査が実施されているものです。公益財団法人かながわ考古学財団が調査し、遺跡を記録として残す目的で進めています。

場所は、大船駅北西約2km、千秀小学校に近くの関谷川左岸河岸段丘に立地、大船から戸塚に向かう山王バス停で下車すると発掘現場のフェンスが見え、ここは連協トラスト地の隣に位置します。千秀小学校周辺は、遺跡地としては周知されていない場所でしたが、古墳時代前期の甕型土器が出土し、同校に保存されており、同時期の集落がある可能性が出ていました。

田谷では、以前から土器等が出土しており、隣の長尾台や鎌倉市関谷等からも弥生後期の土器も出土しています。

調査は同財団職員、調査補助員、支援業務委託業者20人ほどが実施しており、表土を取り除いた後、遺跡を傷つけないように手作業で発掘しています。

調査区を上・中・下段に分け、上・中段では近世の溝状遺構、土坑、ピット(柱の跡などの穴)などを検出。陶磁器類などの破片も出土していますが全体的に出土品は少なく、今後は古い地層まで掘り、遺跡の全体像を把握することが課題となっています。

調査期間は10月末までですが、他の本発掘では、広報を行い見学会が行われ、希望者を募集することが行われますが、今後の調査結果次第では期間の延長や展示会などを開催する場合もあるということです。

発掘報告として、神奈川県発掘調査成果発表会が行われます。また、神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書が発行され、各図書館に閲覧されます。

発掘埋蔵文化財は、神奈川県教育委員会が恒久的に、保存・活用するとのこと。

豊かな遺跡や文化財は、単体で存在しているものではありません。そこには生活が

あり環境がなくてはありえないのです。遺跡や文化財を含めた地域一体の保存こそが求められています。（田谷 加藤）



(発掘現場 上段奥が連協トラスト地隣)

対外活動報告

- 07/15~16 公田笠間トンネル工事説明会(笠間小、アースプラザホール)
- 07/19 NEXCO(木下課長) 情報公開(笠間問題 竹岡、大橋、比留間 ぶらっと栄)
- 07/21 事業者との質問・回答会議(連協24名、事業者8名)
- 07/21 石井国交大臣に決定書不備につき再提出要請書を送付
- 07/24 田谷トラスト説明会(大橋、比留間)
- 07/30 道路全国連幹事会(名古屋、会長参加)
- 08/01 公共事業改革市民会議世話人会(半蔵門、会長参加)
- 08/02 公共事業議員チェックの会事務局長初鹿衆院議員訪問、申し入れと協議(議員会館、会長参加)
- 08/03 神奈川県公害審査会第26回調停(開港記念館、申請者4名)
- 08/04 釜利谷説明会(庄戸三丁目、大橋、会長)

講演学習会のお知らせ 横浜環状線の地域の直下型地震について (熊本大震災に学ぶ)

日 時：平成28年9月24日(土)
13時30分~16時00分

会 場：庄戸小学校 体育館

(JR港南台駅から「庄戸循環」バス15分、
庄戸下車徒歩3分)

参加費：無料 どなたでもご自由にどうぞ
(スリッパを持参願います)

講 師：立石 雅昭氏

新潟大学名誉教授、理学博士(地質学)
新潟県原発安全管理技術委員会(略称)委員

主催：横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会
協賛：庄戸四町会合同道路委員会